

2009年11月27日

報道関係者各位

チーム医療推進協議会代表
日本放射線技師会会長 北村 善明

-
<病院で働く医療専門職13団体と患者会が初めて結集！>
「チーム医療推進協議会」 第4回会議開催（公開）のお知らせ
開催日時：12月3日（木）18時～20時（予定）
開催場所：日本放射線技師会・会議室 TEL.03-5405-3612
（ JR 浜松町駅直結 世界貿易センタービル31階）

近年、各医療施設のホームページには、チーム医療を実践していると強調されているものの、治療の受け手である国民にはどんなことをしているのか、ほとんど知られていません。とくに、チーム医療のメンバーには医師・看護師以外には「どんな職種がいて、どんなときに、どのようなサポートをしてくれるか、わからない」と言います。実は、病院内でも同じことがおこっています。お互いの職種内容についてぼんやり予測できる程度、あまりよく知らないという声が聞こえています。

そこで国民のみなさんにチーム医療を形づくるメディカルスタッフについて知ってもらうとともに、「患者中心の医療」実現に向けてさらなる協働を目指すため、各職能団体が集まり「チーム医療推進協議会」を発足しました。本年6月7月の準備会を経て、第1回の会議では組織作り、第2回・第3回会議ではチームを形成するメンバーの相互理解を深めるため、「チーム医療における各職種の仕事内容と問題点」について参加団体がスライドを使用しながら発表しました。その中でチーム医療における問題点や課題、さらに、各職種共通の問題点が見いだされました。

今回第4回会議では、これらの問題点や課題について、厚生労働省が開催している「チーム医療の推進に関する検討会」に提出していくため、提言書の作成をいたします。また、本協議会代表（日本放射線技師会会長）北村善明が中医協専門委員でもあることから、この提言書は中医協の審議会にも提出いたします。

本会議は公開致します。傍聴をご希望される方は事務局担当の木村までお申し込みください。
なお、新たに日本看護協会が正式に参加しましたこと、あわせてお伝えいたします。

*第4回会議内容 厚生労働省「チーム医療の推進に関する検討会」に提出する提言書の作成
臨床現場でチーム医療の概念が根付かないのはどうしてか。
協議会では総論としてその問題点を3点に絞り、さらに、各職種の臨床現場での問題点や解決策について話し合います。

*
本会議終了後には懇親会を予定しています。参加団体の親睦を深めるために行いますが、報道関係の方々でもご希望者がおられましたら、どうぞご参加ください（費用3000円程度）。

お問い合わせ、傍聴のお申し込み

社団法人日本放射線技師会事務局担当 木村由美

kimura@jart.or.jp

FAX.03-5405-3613

Email: